



まろにえ

令和8年 1月 8日
学校だより 第9号
羽村市立羽村第一中学校

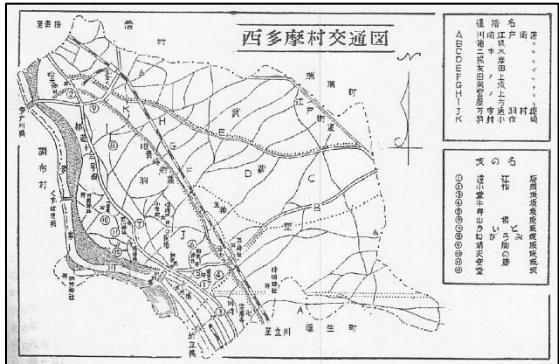
今年もよろしくお願ひします

校長 三浦 利信

令和8年が始まりました。今年もよろしくお願ひします。約2週間の冬休みを終え、学校に生徒たちが戻ってきました。昨日までの閑散とした雰囲気から一転、活気があふれ、生徒のエネルギーを感じました。いよいよ、羽村一中開校80回目の新年を迎えました。

今年は、午（馬）年になります。午年は、「馬」が象徴するように、躍動感、前進、成功、勝負運などを意味しているそうです。また、十二支のちょうど真ん中にあたることから、物事の最高潮、エネルギーの充実を意味し、努力が実を結び、新しいことに挑戦するのに適した年とも言われています。

右の写真は、羽村一中が開校した昭和23年度に西多摩小学校で社会科の学習で使用されていた「伸びゆく村」（昭和63年復刻版）に掲載されていたものです。本の中では、小学生が西多摩村の道路を調べようとして、紙に住んでいる川崎、五ノ神、加美、東谷、奈賀、小作の道路を書き込むが、うまく地図が作れずに、村役場を訪ねて教えてもらい、自分たちで道路地図を完成させるストーリーが書かれています。現在の教育でも強く求められている、課題解決学習が昭和23年に羽村市の小学校で行われていたことに驚きました。「伸びゆく村」は時代と共に姿を変え、現在も「わたしたちの羽村市」として、市内の小学校で使用されています。



3学期は1年間でいちばん短い学期です。その中で、1年間の総まとめをし、次の年度の準備をする大切な学期もあります。1年生は、校外学習等の反省を活かし、スキー移動教室にもしっかりと取り組み、進級に向けて、大きく成長することを期待します。2年生は、最高学年として羽村一中の伝統を受け継ぎ、学校を動かしていく存在となることを期待します。3年生は、中学校3年間で大きく成長できた自信をもち、後悔せぬよう取り組み、自らの手で進路を切り開いてください。

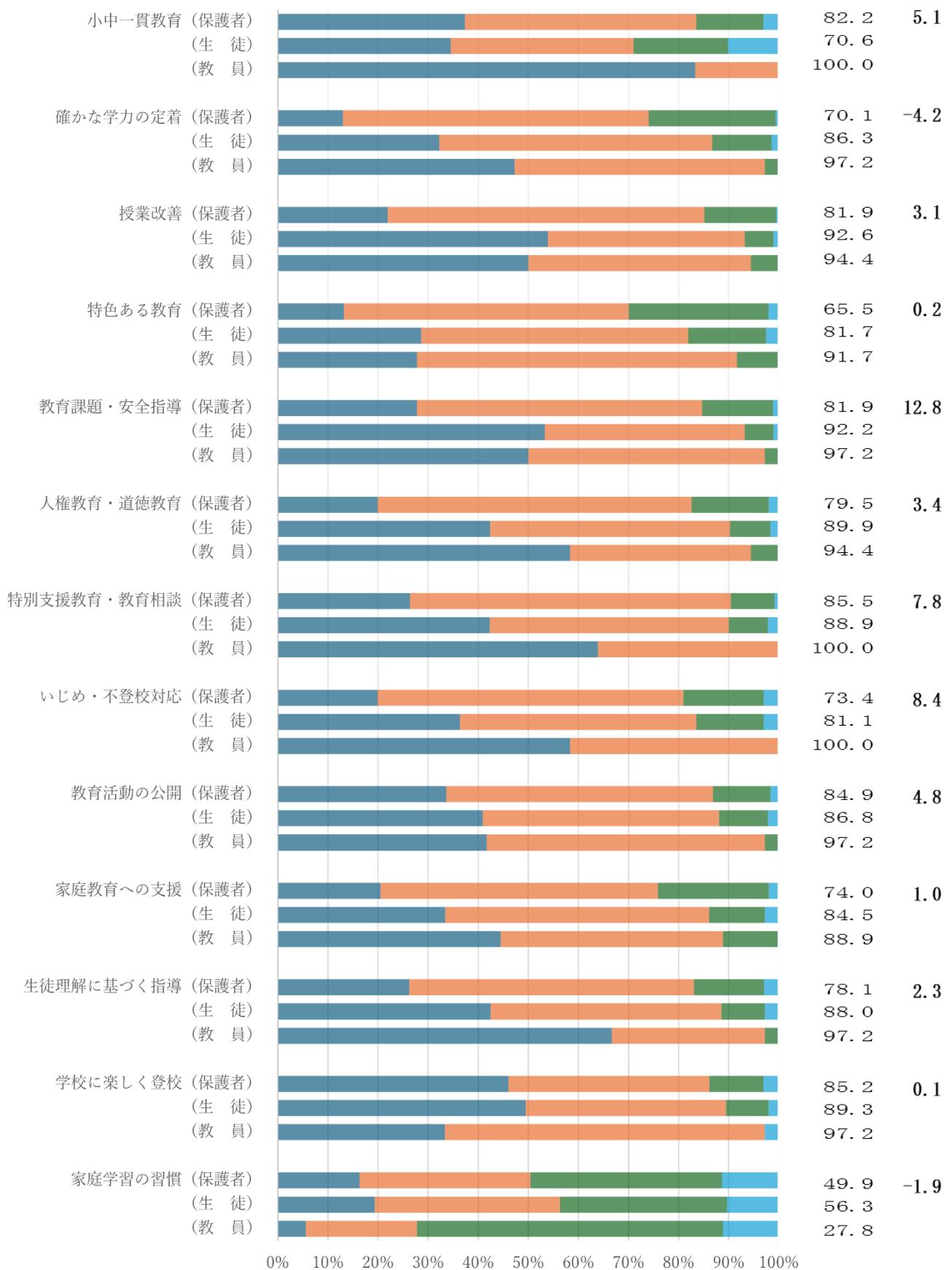
学校評価アンケート結果について

お忙しい中、学校評価保護者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。昨年度に引き続き、生徒や教員も同内容のアンケートを実施いたしました。集計結果は、裏面に掲載しております。

全体的な傾向をみると、ほとんどの項目で肯定的な評価が一昨年度、昨年度より上昇し、過半数を超えていました。一方で、確かな学力や家庭学習への取組については、引き続き改善に努めて参ります。また、教育課題・安全指導については、「まなびポケット」の活用もあり、情報を発信する機会が増えたことも影響しているかと思われます。日々の教育活動へのご協力、ありがとうございます。

令和7年度 学校アンケート集計結果

肯定的意見 昨年度比



■ よくあてはまる ■ ややあてはまる ■ あまりあてはまらない ■ 全くあてはまらない